



まつぽっと



としょしつおすすめの本



えほん

『おじいちゃんがペンギンやったとき』(Eフツド)

モラグ・フツド/作 長谷川 義史/訳 小学館



おじいちゃんのいえにいったら、おじいちゃんがなんだかいつもとちがうねん。つりのはなしばかりするし、ふくきてないし、おさかなばかりたべてんねん。おじいちゃん、としとったんかな? どうしてやる? そうおもってるとすいぞくかんからでんわがかかってきて…。

よみもの

のほら
『あやめさんのひみつの野原』(Y9 1 3シマム)

島村 木綿子/作 かんべ あやこ/絵 国土社



かりんのへやにいるキジオは、あやめさんが飼っていた猫ねこです。あやめさんは、かりんのおばあさんの妹いもうとで病びょうきのため春はるに亡なくなりました。ある時とき、あやめさん手て作つくりのざぶとんにすわったキジオが突とつ然ぜんしゃべりだしました。キジオが教おしえてくれた通とおりに、かりんがざぶとんにすわり目めをつぶっていると、ふしぎなことが起おこります。

そのた

しょうわ みせ や
『昭和のお店屋さん』(B 6 7フジカ)

藤川 智子/作 ほるぷ出版



しょうわ じだい ひやくねん むかし
昭和という時代は、いまから百年ほど昔にはじまりました。そのころの日本にはどんなお店があったのでしょうか。女性のおしゃれアイテムとして人気のあったパラソル・ショール店をはじめ、7つのお店がわかりやすい絵でくわしく紹介されています。当時の街のようすや人びとの生活についても知る事ができる1冊です。

おはなしかいでよんだほん

おはなしロケット がつ〔4月のテーマ：ゆうびん〕

『ネコのおてがみ』(C)

長野 ヒデ子/脚本・絵 童心社

ネコくんがおてがみをかきました。あかちゃん、きんぎょさんと、みけおばさんにわたしにいきます。だけど、みんなぜんぜんよんでくれません。ネコくんがっかりしているとまどからことりさんがとんできて…。

『ゆうびんやさんおねがいね』(Eゴルバ)

サンドラ・ホーニング/文
バレリー・ゴルバチョフ/絵
なががわ ちひろ/訳 徳間書店

コブタくんが、だいすきなおばあちゃんのおたんじょうびにおくったのは、だいすきの「ぎゅっ」。ゆうびんやさんはどうやってとどけるのかな？

「おはなしロケット」のおしらせ

日時：毎月第1土曜日 午前10時30分から
場所：松川学習センター 和室
対象：4才～小学生のおともだち
内容：絵本の読み聞かせ、工作など

〈これからの日程とテーマ〉

7月6日 ※スペシャル
8月3日 「みず」
9月7日 「ぼけつと」
10月5日 「くまくま」



おひざにだっこのおはなしかい

『あ、あ!』(Eタカハ)

ねこ しおり/ぶん 高橋 和枝/え 偕成社

あかちゃんが「あ、あ!」とゆびさしています。なにをみつけたのでしょうか。すると、やってきたのはねこさん。「あ、あ!」のくりかえしがかわいいえほんです。

『りんごがひとつ』(Eフクダ)

ふくだ すぐる/作・絵 岩崎書店

おなかをすかせたどうぶつたちのまえに、りんごがひとつおちています。それをおさるがとってしまって、さあたいへん! みんなは、「まてー!」とおいかけますが…。

「おひざにだっこのおはなしかい」のおしらせ

日時：毎月第1木曜日 午前10時30分から
場所：松川学習センター 和室
対象：3才までのお子さんと保護者
内容：絵本の読み聞かせ、手あそびなど

〈これからの日程〉

7月11日、8月1日
9月5日、10月3日
※7月は第2木曜日になります。



としよしつからのおしらせ

夏のおはなしロケット スペシャル

1

★ 日 ひに にち

7月6日(土曜日)

★ 時 じ間 かん

午前10時30分から

★ 場 ば所 しょ

松川学習センター和室

★ 対 たい象 しょう

4さいから小学生

☆ テーマ：すうじ

・ペープサート『どうぶつしんちょうそくてい』
『どうぶつたいじゅうそくてい』

・工作『へんしんパタパタキューブ』など

スペシャルは
スタンプが
2こ
もらえるよ!



夏休み期間の 利用案内

課題図書や自由研究の本を展示しています。
自由研究の本はひとり3冊まで貸出できます。

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ はおやすみです。

季節のことは
これって、
なに？

ころもがえ 衣がえ



季節の変化に合わせて、衣服や身の回りのものをとりかえることを「衣がえ」といいます。平安時代の宮中では衣がえを「更衣」とよび、旧暦の4月1日から夏の装束(夏服)に、10月1日から冬の装束(冬服)にかえるしきたりでした。江戸時代には幕府が年に4回の衣がえを決めて、城中だけでなく一般の人びともそれになりました。明治時代に入ると、政府により「6月1日は夏の衣がえ、10月1日は冬の衣がえ」とさだめられ今にいたっています。一般的に6月1日から9月30日は夏服、10月1日から5月31日は冬服とされています。また、衣服だけでなく家の中も衣がえがあるのを知っていますか？ 暑い夏にむけて、すごしやすい部屋にかえてみてはいかがでしょうか。

参考にした本／『和』の行事えほん1 春と夏の巻』(B38タカノ) 高野 紀子/作 あすなる書房
『伝統行事がわかる図鑑2 夏のしきたり』
(B38デント2) 新谷 尚紀/監修 ポプラ社

としょしつ 図書室からのお願い

- ◆本をかえす日をまもりましょう。次にまっている人がいます。
- ◆本を大切に扱っていきましょう。ページをやぶいたり、らくがきはしないでください。やぶれても、セロハンテープなどでなおさず、カウンターまでおもちください。
- ◆雨の日は、本がぬれないように、バックに入れてください。



松川学習センター図書室広報
まつぽっと 第8号

2019年6月発行



編集：松川学習センター図書室

〒960-1241 福島市松川町字杉内33

TEL 567-2403

発行：福島市立図書館

〒960-8018 福島市松木町1-1

TEL 531-6551

ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>

携帯ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/index.html>

※一部の機種の手持電話では、本サービスを利用できない場合があります

